

煩雑すぎる ディープラーニングを 4ステップで

データを選択

紐付けたレジストリから
コンテナを選択

Gitへ登録した
学習モデルを選択

リソースを設定

画面は実際のものとは異なります

学習実行

* データセット
選択してください

* コンテナイメージ
イメージ: 選択してください
タグ: 選択してください

* モデル
リポジトリ: 選択してください
ブランチ: 選択してください
コミットID: HEAD (コミットIDを指定)

* CPU: 1
* メモ: 1
* GPU: 0

キャンセル 実行

学習開始!

後は待つだけ



KAMONOHASHI

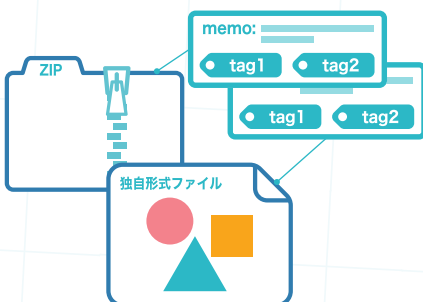
All in One Deep Learning Platform

Deep Learning開発者を煩雑な作業から解放!

KAMONOHASHIはDeep Learningの統合開発プラットフォームです。Deep Learning開発プロセスには、複雑な環境構築、計算リソースの確保、膨大なデータや試行錯誤履歴の管理など、多くの煩雑な作業があります。これら作業項目を一つ一つ効率化したノウハウを開発・運用環境として凝縮したものがKAMONOHASHIです。

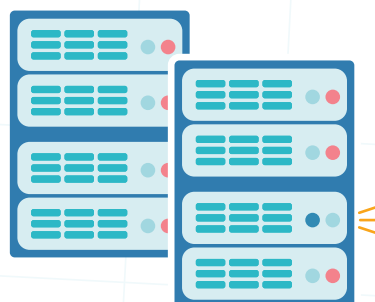
データ管理が楽

画像ファイルはもちろん、ZIPファイルや独自形式ファイルなど、ファイル形式を問わずにまとめてアップロードできます。それぞれにメモやタグをつけて整理できるため、データ検索も容易です。



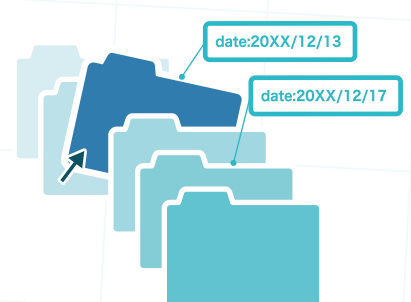
リソースの確認が楽

学習に使用する計算リソースはKAMONOHASHI上で管理され、利用状況を常に確認できます。これによりチームメンバーは、リソースの空き状況を他のメンバーに確認せずとも、学習を実行できます。



学習の管理が楽

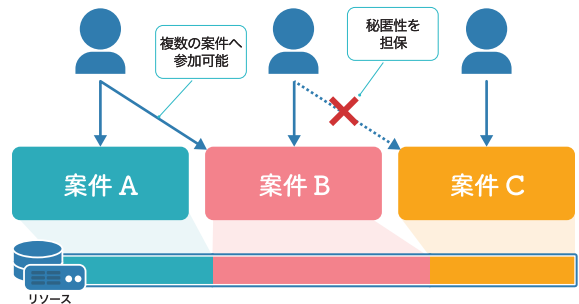
学習に使用したデータや学習モデル等の情報は、KAMONOHASHI上に自動で記録されます。そのため煩雑な作業となりがちな、学習の再現性の担保やチーム間での学習共有が容易に行えます。



AI 開発者を AI チームへ

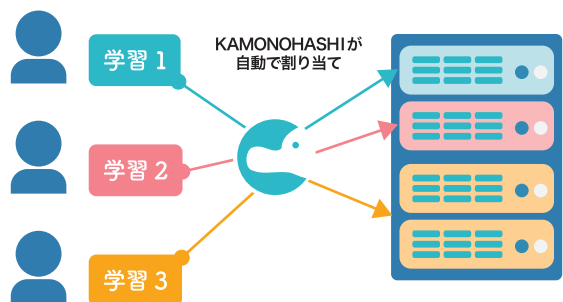
1 セキュアに複数の案件を同居

KAMONOHASHIはマルチテナント方式で構成されます。管理者がユーザ毎に案件参加権限を付与することで、案件やチーム間のデータ秘匿性を担保しつつ、ストレージや計算環境などのリソース共有を実現します。



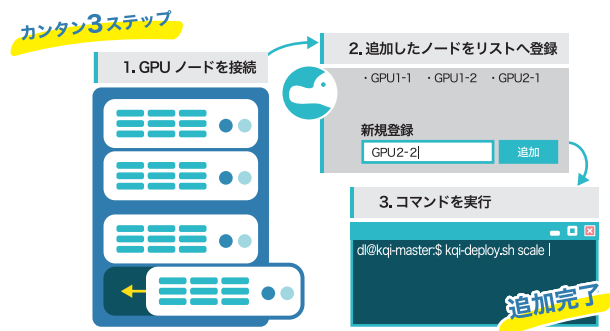
2 計算リソース稼働率の最適化

KAMONOHASHIでは各学習に対して、GPU単位でのリソース割り当てが可能です。リソースを最適な粒度で分割して割り振ることで、稼働率を向上できます。また、特定のチームだけでリソースを独占されないように、利用上限を設定したり、ノードごとに利用できるチームを制限することも可能です。



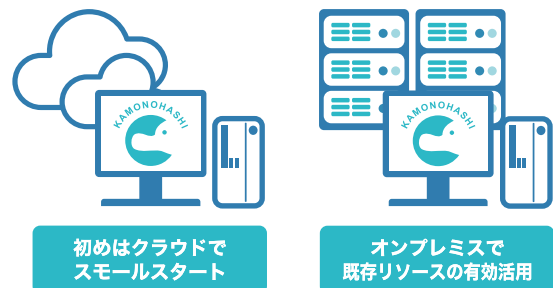
3 計算ノードの追加を省力化

KAMONOHASHIで管理する計算クラスターは、容易にスケールアウト可能です。煩雑なGPUノードのセットアップ作業をすることなくノード追加を行うため、クラスターの総計算量不足に対して迅速に対応できます。



4 クラウドでもオンプレでも

KAMONOHASHIはオンプレミスでもクラウドでも採用することができます。既存資産の活用や計算リソースを使い倒したいお客様には、オンプレミスにて利用いただけます。高額な初期投資なしにAI開発をスタートしたいお客様には、クラウドでの導入がおススメです。



お問い合わせ

日鉄ソリューションズ システム研究開発センター

神奈川県横浜市西区みなとみらい 3-3-1 三菱重工横浜ビル

担当：KAMONOHASHIサポート

H P：https://kamonohashi.ai

Mail：kamonohashi-support@jp.nssol.nipponsteel.com

KAMONOHASHI、KAMONOHASHIロゴは新日鉄住金ソリューションズ株式会社の登録商標です。その他、本文記載の会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

Copyright(c)2019 NS Solutions Corporation,
All rights reserved.

